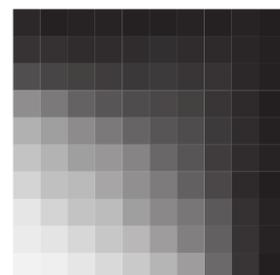


AVANT Chart

Azure 上での構築の手引き

2025 年 7 月 9 日



AVANT

目次

改版履歴	i
第 1 章 はじめに	3
1.1 作業前提	3
1.2 構築手順の概要	3
1.3 構成前提	4
第 2 章 事前準備	5
2.1 作業前提	5
2.2 AVANT Chart ライセンス	5
2.3 構築する仮想マシンの設定情報について	6
2.4 Azure 上のネットワークの構築について	6
第 3 章 マーケットプレイスからの Azure VM の構築	7
3.1 仮想マシンの構築	7
3.2 DNS 名の登録	8
第 4 章 地域変更、日本語化、タイムゾーン変更	9
4.1 地域の変更	9
4.2 OS の日本語パックのインストール、言語表示の変更	9
4.3 タイムゾーンの変更（日本 UTC+0900）	10
第 5 章 起動インストールキーの登録（サーバ）	11
5.1 ツールのインストールキーの入力	11
第 6 章 AVANT Chart サイト認証コード登録	12
6.1 サイト認証コードの受領と準備	12
6.2 サイト認証	14
第 7 章 起動インストールキーの登録（クライアント）	16
7.1 ツールのインストールと起動インストールキーの登録	16
7.2 クライアント環境からサーバのサイトフォルダへのアクセス確認	22
第 8 章 ライセンス更新	23

改版履歴

2025 年 7 月 9 日

新規作成

第 1 章 はじめに

本手順書は Azure Marketplace からの AVANT Chart 環境を構築する際の手順について記載します。

1.1 作業前提

本書手順を実施する前に、AVANT Chart ライセンスを購入し以下のものが出荷されている必要があります。

- AVANT Chart ライセンスキー
- サイト認証コード (CLU コード)

本書手順を実施するには、Azure に関して基礎的な知識が必要です。

1.2 構築手順の概要

AVANT Chart イメージを用いて、仮想マシンの構築をするには、次の手順にて構築を行います。

- ① Azure Marketplace の AVANT Chart イメージを用いた仮想マシンの構築
- ② AVANT Chart デスクトップツールのインストールとプロダクトキーの登録
※Azure Marketplace から構築した仮想マシンには、AVANT Chart デスクトップツールがインストールされています。
- ③ AVANT Chart のサイト認証

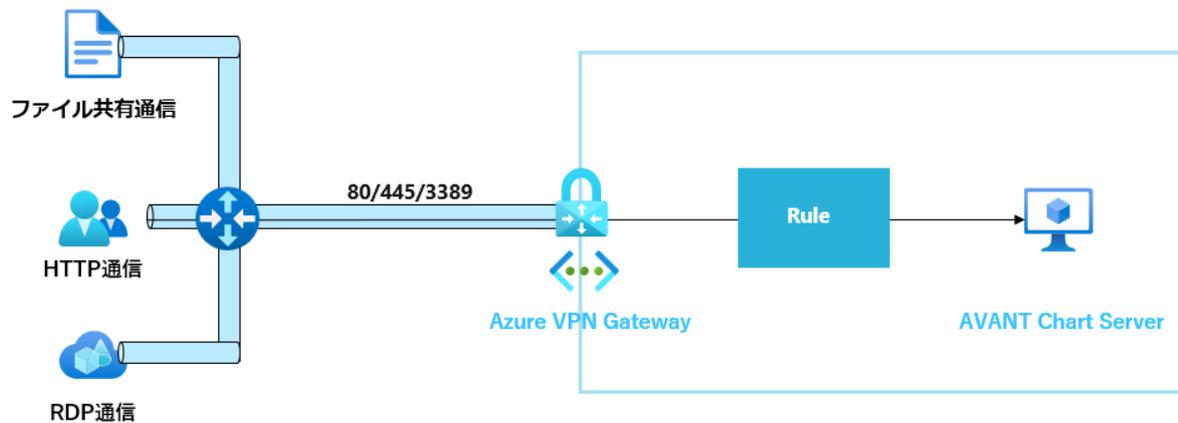
本手順書は、2025 年 7 月時点の Azure Portal の設定値をもとに作成しております。ご案内している設定と異なる場合があるかもしれませんが、ご了承ください。

1.3 構成前提

本書における手順は下図のようなお客様社内ネットワークから Point-to-Site VPN を経由したネットワーク構成でご利用になることを想定しています。仮想マシン以外のリソースの構築手順は、本書手順に含まれません。お客様要件に従って必要なリソースを構築し、ご利用ください。

仮想マシン以外の Azure リソースの構築を弊社にご依頼になる場合には、別途 貴社営業担当までご相談ください。

(ネットワーク構成例)



第 2 章 事前準備

2.1 作業前提

Microsoft Azure のサブスクリプション契約が別途必要です。事前にご準備ください。

2.2 AVANT Chart ライセンス

AVANT Chart のご利用には、弊社よりソフトウェアライセンスを購入になり、送付されるライセンスキーとサイト認証コードが必要となります。事前にライセンスキーとサイト認証コードが入手できていることを確認ください。

※ライセンスキーとサイト認証コードは入手した際の組み合わせで利用する必要があります。

2.3 構築する仮想マシンの設定情報について

構築にあたり以下の内容については事前にご確認してください。

- ✓ 構築する仮想マシンのコンピュータ名
- ✓ 管理者アカウントとパスワード

2.4 Azure 上のネットワークの構築について

お客様の要件に合わせて、ご用意いただいた Azure サブスクリプション上に仮想ネットワークおよびサブネットを構築する必要があります。また、VPN などの、お客様が利用される PC より構築した仮想ネットワークへの通信経路の確保が必要です。

これらについて、お客様にて事前に準備ください。弊社に Azure ネットワーク構築についてご依頼いただく場合には、弊社営業担当までご相談ください。

第 3 章 マーケットプレイスからの Azure VM の構築

3.1 仮想マシンの構築

Azure Portal へログインし、仮想マシンを構築します。構築手順は次のとおりです。

Azure Portal から仮想マシンの作成を行います。AVANT Chart をイメージとして選択する際の設定値は以下の通りです。指定する設定項目以外はお客様要件に従って設定ください。イメージに AVANT Chart が表示されない場合は、「すべてのイメージを表示」を選択し「AVANT Chart」にて検索ください。

(基本)

項目	値
イメージ	AVANT Chart
サイズ	標準構成として、次の SKU を推奨。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Standard_D4d_v4 ・ Standard_D4as_v4 ・ Standard_E4as_v4 ・ Standard_E4ds_v4

(ディスク)

項目	値
OS ディスク	
OS ディスク サイズ	256GB 以上を推奨
OS ディスクの種類	Premium SSD を推奨

(ネットワーク)

項目	値
ネットワーク インターフェイス	
仮想ネットワーク	事前に用意した仮想ネットワークを選択ください。
パブリック IP	なし

3.2 DNS 名の登録

接続 URL を、IP アドレス以外にするため、DNS 設定を行います。

■ DNS 登録手順

1. Azure Portal にて、作成した仮想マシンを選択します。
2. 左ペインの**[概要]**を選択します。
3. メインウインドウの**[基本]**より**[DNS 名]**をクリックします。
4. DNS 名ラベル (オプション)に、任意のホスト名を入力し**[保存]**をクリックします。
5. 左ペインの**[概要]**を選択し、上部メニューの**[最新の情報に更新]**をクリックします。最**[DNS 名]**の表示に表示された FQDN が構築した仮想マシンの DNS 名となります。

第 4 章 地域変更、日本語化、タイムゾーン変更

仮想マシン構築後、リモートデスクトップで接続し、次の設定変更を行います。言語パックのインストールにあたりサーバ OS からインターネットにアクセスできる環境が必要になります。

4.1 地域の変更

■地域 (Japan) の変更

1. **[start]** を選択し、**[Settings]** > **[Time & language]** を選択します。
2. **[Region]** から Country region プルダウンから、**Japan** を選択します。
3. Regional format メニューで、Recommended[Japanese(Japan)]になっていることを確認します。

4.2 OS の日本語パックのインストール、言語表示の変更

■日本語パックのインストール

1. すべての作業を保存し、開いているアプリを閉じます。
2. **[start]** を選択し、**[Settings]** > **[Time & language]** を選択します。
3. **[Time & language > Language & region]** ウィンドウの **[Language]** セクションで、**[Preferred languages]** の下にある **[Add a language]** を選択します。
4. **[Choose a language to install]** ウィンドウで、**[Japanese]** を選択し、**[Next]** ボタンを選択します。
5. **[In the Install Language Features]** ウィンドウで、次の項目が選択されていることを確認します。
 - ✓ Install language pack
 - ✓ Text-to-recognition
 - Speech recognition
 - ✓ Hardwriting
6. **[In the Install Language Features]** ウィンドウで必要に応じてすべてのオプションが選択されたら、**[Install]** ボタンを選択します。

言語のインストールが完了するまで待ちます。これには数分かかる場合があります。

言語の一覧には、Japanese のダウンロードとインストールの進行状況も表示されます。

7. 選択した言語のインストールが完了すると、**[Time & language]**に Japanese が追加されます。

■表示言語の変更

1. **[Time & language > Language & region]** ウィンドウの **[Language]** セクションで、Windows display language プルダウンから、日本語を選択します。
2. Setting Windows display language メッセージが表示され、**[No,sign out later]**を選択します。後続でシステムロケールを確認、または変更しますので、ログアウトしません。
3. 画面右上の Related setting メニューの**[Administrative language setting]**を選択します。
4. Region ウィンドウから Administrative タブを選択し、Language for non-Unicode programs メニュー[Current language for Unicode programs:]欄で、**Japanese(Japan)** になっていることを確認します。
5. Welcome screen and new user accounts メニューの**[Copy settings]**を選択します。
6. Copy your current settings to:欄で次の項目にチェックを入れ、**[OK]**を選択します。
 - ・ Welcome screen and system accounts
 - ・ New user accounts
7. Change Display Language メッセージで**[Restart now]**をクリックします。
8. 仮想マシンが再起動されます。
9. 仮想マシン起動後、表示が日本語になっていることを確認します。

4.3 タイムゾーンの変更 (日本 UTC+0900)

■タイムゾーンの変更

1. **スタート** 画面で、**コントロール パネル**を開きます。
2. **[時計と地域]** で、**[日付と時刻の設定]** をクリックします。
3. **[タイム ゾーンの変更]** をクリックし、タイムゾーン欄から**(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京**を選択して、**[OK]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

第 5 章 起動インストールキーの登録 (サーバ)

5.1 ツールのインストールキーの入力

AVANT Chart ツールのインストールにあたり、初回起動時にプロダクトキーを登録する必要があります。実行にあたり管理者権限が必要になります。Azure Marketplace から構築した仮想マシンには、AVANT Chart ツールはインストール済みであり、本手順は仮想マシン上で行うことを前提にしております。

1. 仮想マシンを構築時に指定した管理者アカウントにて、仮想マシンへ RDP 接続します。
2. 仮想マシンのデスクトップ上にある AVANT Chart Architect を起動します。
3. AVANT Chart Architect を起動すると表示される **[Enter Licence key]** ウィンドウが表示されます。**[ライセンス番号]** に受領したライセンスキーを入力し、**[OK]** をクリックします。



4. トップ画面が開くことを確認します。



第 6 章 AVANT Chart サイト認証コード登録

AVANT Chart ツールのインストール後、サイト側の認証を行う必要があります。

6.1 サイト認証コードの受領と準備

AVANT Chart のサイト認証コード（CLU コード）は、AVANT Chart サーバに配置するサイト情報に紐づき発行されます。下記の流れをもとに事前準備を行ってください。

■ サイトフォルダの配置

サイト認証コードとともに送付されたサイトコンテンツ（zip 形式）を解凍し、AVANT Chart サーバ上に配置を行ってください。

- ① 受領した URL からサイトコンテンツ(zip 形式)をダウンロードします。
- ② ダウンロードした環境においてサイトコンテンツ(zip 形式)を解凍します。
- ③ 仮想マシンを構築時に指定した管理者アカウントにて、仮想マシンへ RDP 接続します
- ④ C:¥AVANT Chart Sites 配下に、「PortfolioManagementApplication」フォルダを作成します。
- ⑤ C:¥AVANT Chart Sites¥PortfolioManagementApplication フォルダ配下に、サイトコンテンツ(zip 形式)から解凍されたファイル一式をそのまま配置します。
- ⑥ C:¥AVANT Chart Sites¥PortfolioManagementApplication フォルダ配下に、[PortfolioManagementApplication.eks]があることを確認します。

■ web.config の編集、IIS 再起動

初期のサイトからサイトフォルダを変更した場合、2 か所の、サイト設定構成ファイル(.eks)の指定パスを編集し、IIS の再起動を行います。

- ✓ サイト先の指定
- ✓ 認証先の指定

① "C:\inetpub\wwwroot\chart\web.config"をメモ帳で開きます。

② 次の箇所（太字部分）を編集します。

◆ 変更前

```
<add appName="Sunrise Brands" editionName="The latest version"
editionLocator="C:\AVANT Chart Sites\Sunrise Brands Management Reporting\Sunrise Brands
Management Reporting.eks" showNavigation="false" allowSwipeActions="true"
allowEmailLink="true" />
```

◆ 変更後

```
<add appName=" PortfolioManagementApplication" editionName="The latest version"
editionLocator="C:\AVANT Chart
Sites\PortfolioManagementApplication\PortfolioManagementApplication.eks"
showNavigation="false" allowSwipeActions="true" allowEmailLink="true" />
```

③ 続けて、次の箇所（太字部分）を編集します。

◆ 変更前

```
<add key="EmpowerAuthLocator" value="C:\AVANT Chart Sites\Sunrise Brands Management
Reporting\Sunrise Brands Management Reporting.eks" />
```

◆ 変更後

```
<add key="EmpowerAuthLocator" value="C:\AVANT Chart
Sites\PortfolioManagementApplication\PortfolioManagementApplication.eks" />
```

④ メモ帳から、web.config を上書き保存します。

⑤ スタートメニューから「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを管理者として開きます。

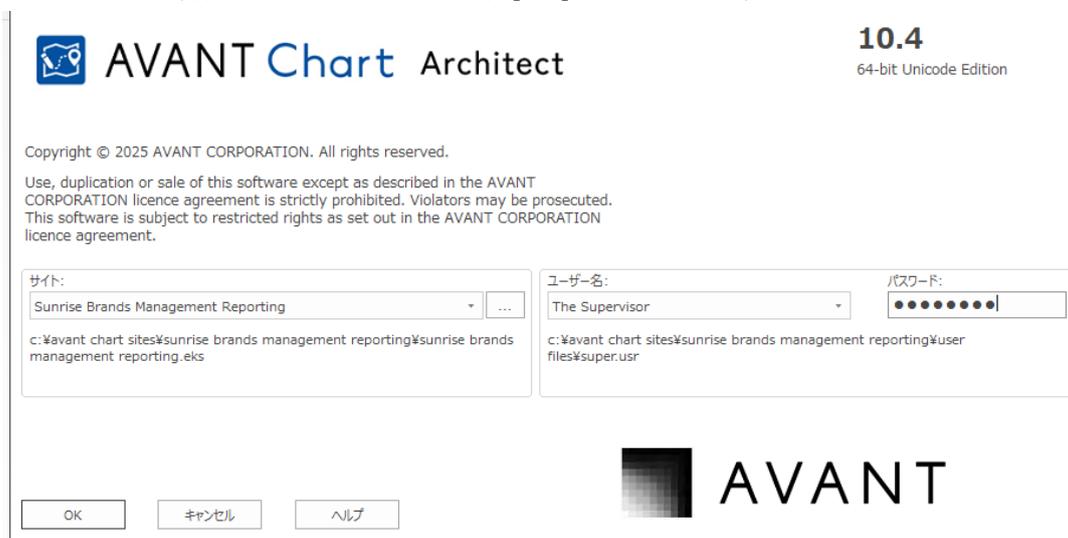
⑥ コマンドプロンプトで「iisreset」と入力し、Enter キーを押します。

6.2 サイト認証

サイト認証コードを準備してください。サイト認証コードは、次のようなランダムなキーとなります。

例) abC1234deFGhij567kLMn89OpQRA=

1. 仮想マシンを構築時に指定した管理者アカウントにて、仮想マシンへ RDP 接続します。
2. デスクトップにある AVANT Chart Architect 10.4 を起動します。
3. [サイト]に対象のサイト設定構成ファイル(.eks)を指定し、AVANT Chart アプリケーションのユーザ名、パスワードは入力し、[OK]を選択します。



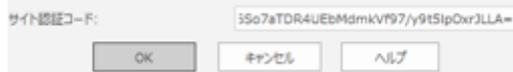
4. ホームから、Certification アイコンを選択します。



5. Certify Site アイコンをクリックします。



6. [認証番号を入力]画面が表示され、画面下にある、サイト認証コード項目にサイト認証コード（CLU コード）を入力し、OK を選択します。



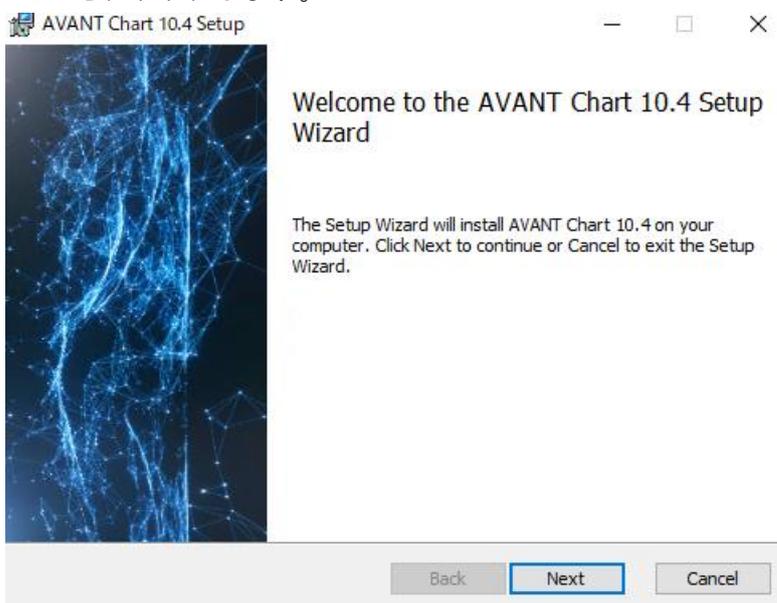
7. メッセージを確認し、[OK]を選択します。表示されるメッセージは以下のどちらかです。
 - （成功した場合） このサイトは認証済みです。
 - （失敗した場合） 入力したコードが間違っています。正しいコードが入力されていることを確認してください。
8. サイト認証コードの登録手順は完了です。ウィンドウを閉じてください。

第 7 章 起動インストールキーの登録（クライアント）

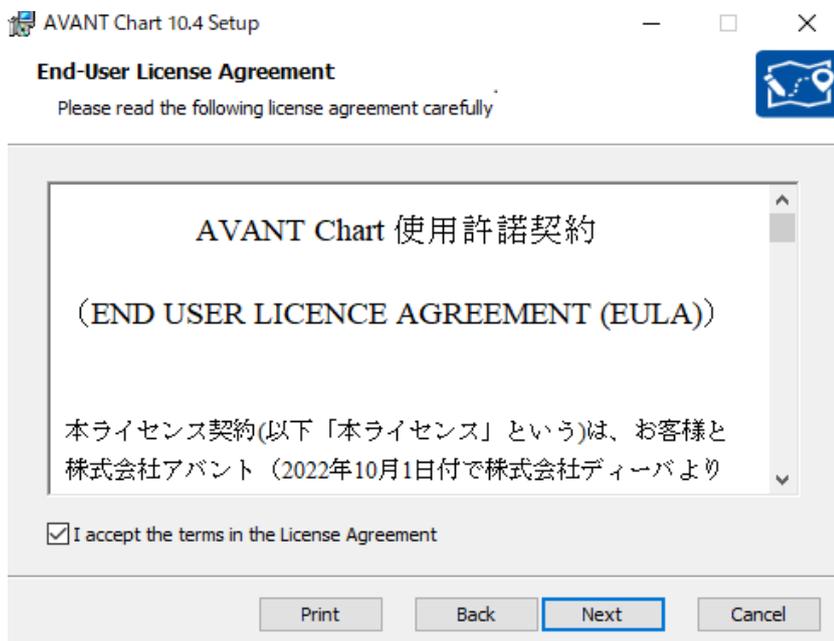
7.1 ツールのインストールと起動インストールキーの登録

お客様 PC にツールをインストールする場合の手順を記載します。インストールにあたり、初回起動時にプロダクトキーを登録する必要があり、インストーラーの実行、およびインストールキーの登録は、OS 管理者権限が必要です。

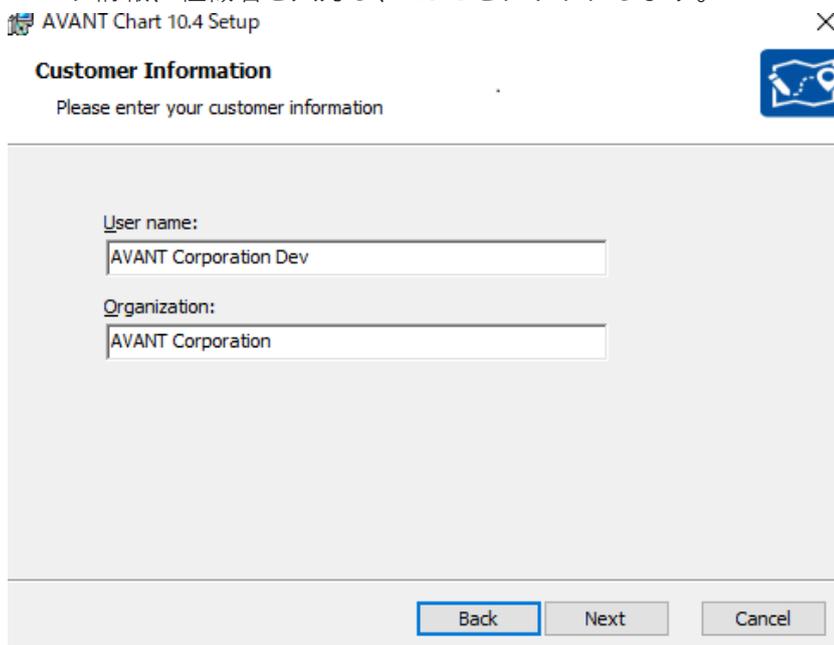
1. 管理者権限にてお客様 PC にログインします。
2. 提供されたツールのインストーラーを任意のフォルダに配置します。
3. AVANT Chart Installer 10.4.msi を実行します。
4. Next をクリックします。



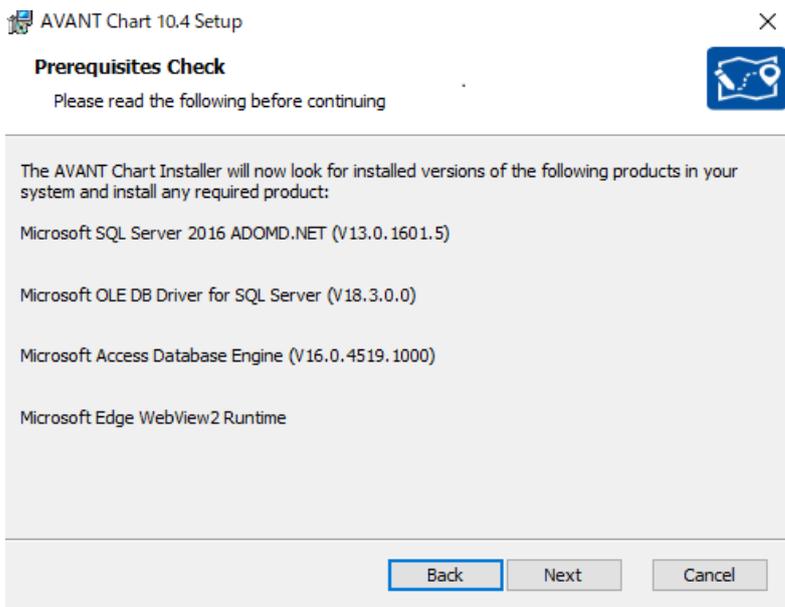
5. 「I accept the terms in the License Agreement」にチェックをいれ、Next をクリックします。



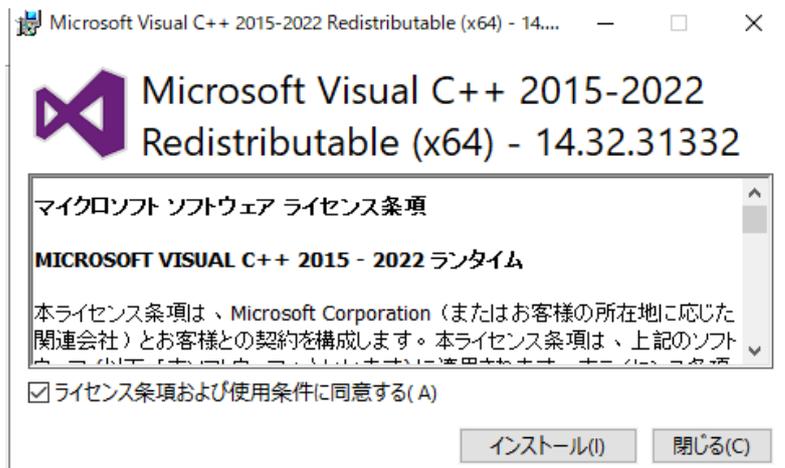
6. ユーザ情報、組織名を入力し、Next をクリックします。



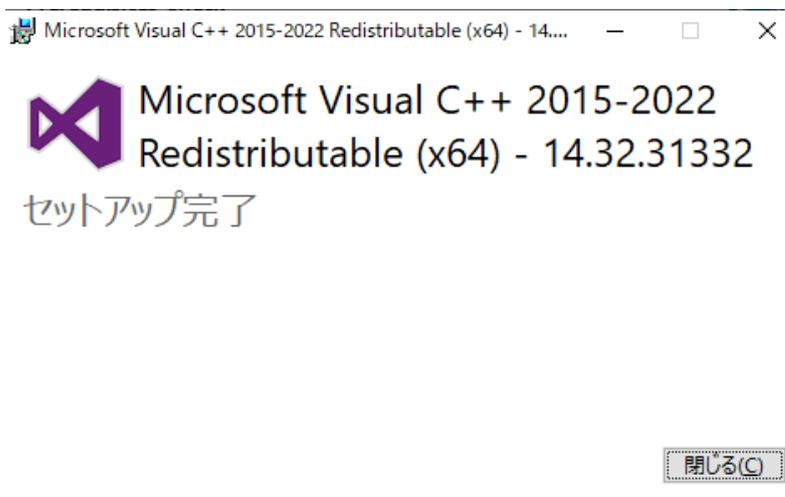
- Next をクリックします。



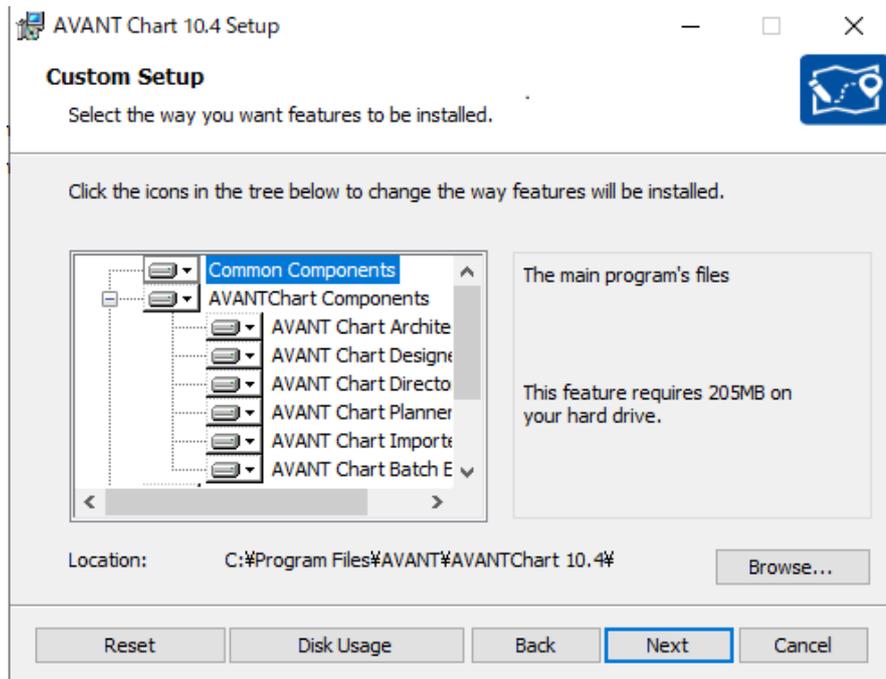
- ライセンス条項および使用条件に同意する、にチェックをいれ、インストールをクリックします。



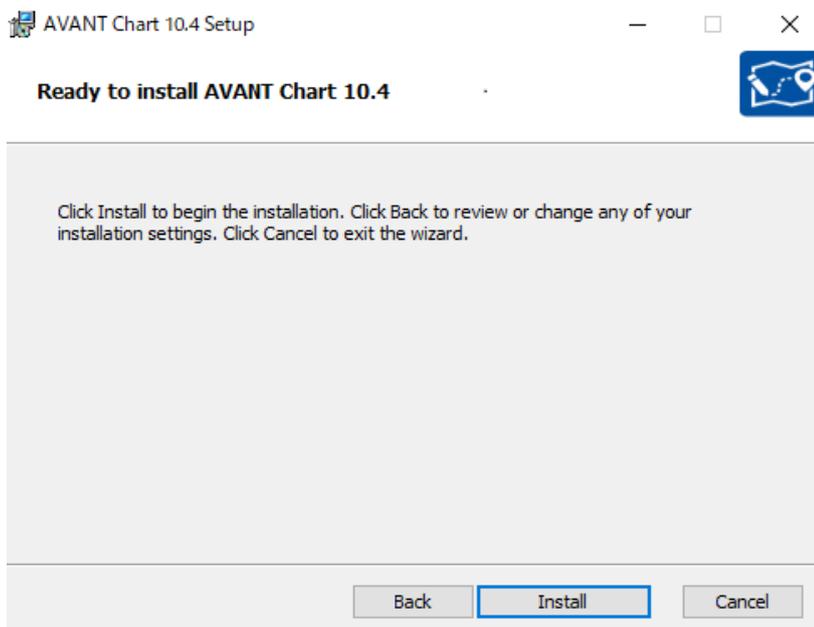
- 閉じるをクリックします。



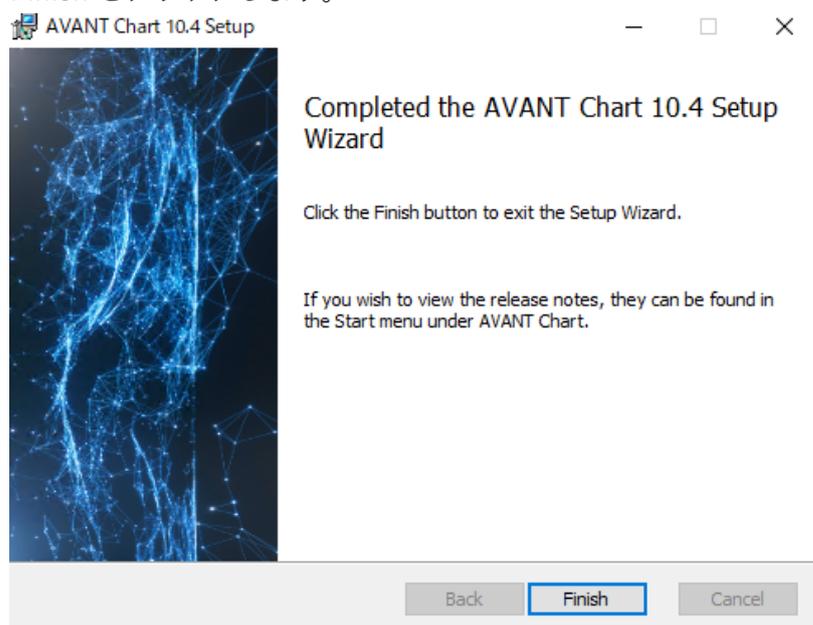
10. Next をクリックします。



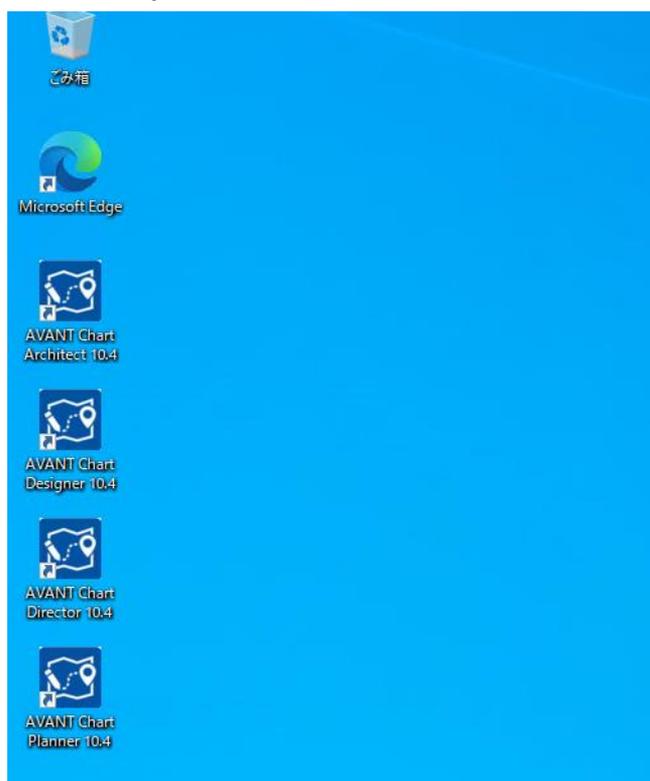
11. Install をクリックします。



12. Finish をクリックします。



13. デスクトップ上に、ショートアイコンが作成され、AVANT Chart Architect 10.4 をクリックします。



14. 起動すると、ライセンスキーの入力が発行されますので、受領したライセンスキーを入力し、OK をクリックします。



15. トップ画面が開くことを確認します。



管理者で実行、登録後は通常の一般ユーザ権限にてご利用可能です。

7.2 クライアント環境からサーバのサイトフォルダへのアクセス確認

お客様 PC からサーバ上のファイルの差し替えなどを行う場合には、お客様 PC からサーバ上の共有フォルダにアクセスし、フォルダやファイルの差し替えを行うことができます。Azure Marketplace から構築した仮想マシンにおいては、事前に「AVANT Chart Sites フォルダ」が共有設定済みです。

1. (VPN を構成している場合) VPN 接続します。
2. クライアント PC で、エクスプローラーを起動します。
3. アドレス部分に次のように入力し、実行します。
¥¥[仮想マシン DNS 名 もしくは IP アドレス]
4. 認証画面が表示されますので、Windows OS アカウントの情報を入力します。
5. 認証後、AVANT Chart Sites フォルダが表示され、フォルダが参照できることを確認します。

本手順を実施される場合には、管理者権限を持つ仮想マシンを構築時に指定した管理者アカウントでも接続できますが、セキュリティの観点より本用途向けの Windows アカウントを別途作成し利用されることを推奨します。

第 8 章 ライセンス更新

発行されるサイト認証コードは、ライセンス期間終了後は失効します。AVANT Chart サブスクリプションを更新されると、次契約期間のサイト認証コードが発行され、これを登録する必要があります。

登録手順は、「6.2 サイト認証」の手順で実施します。

AVANT Chart

Azure 上での構築の手引き

©AVANT CORPORATION. All Rights Reserved.

この文書の一部または全体を株式会社アバントの書面による事前の許可なしに、
複写、複製、配布、転送することは禁じられています。